

交通安全のポイント

令和3年7月24日
福島県警察本部

1 人身交通事故発生状況（7月24日現在の概数） ※（ ）は前年同期比

発生件数	死者数	高齢者	けが人数
1,623件 (-217件)	21人 (-8人)	11人 (-4人)	1,862人 (-326人)

※いわき市の死者等については、本発生状況には含まれておりません。

2 県内では4連休の3日間で重大事故が4件連続で発生します！

	発生月日	曜日	時間	発生場所	状況
1	7月22日	(木)	9:05	大沼郡昭和村	60代男性が運転する原動機付自転車が、ガードレールに接触して転倒し、重傷を負ったもの
2	7月23日	(金)	14:59	福島市	30代男性が運転する軽四輪乗用自動車が、十字路口交差点を右折する際、右方から進行してきた40代男性が運転する大型自動二輪車と出合頭に衝突し、大型自動二輪車の運転手が重傷を負ったもの。
3	7月24日	(土)	15:50	白河市	30代男性が運転する普通乗用自動車が、直線路を進行中、対向してきた70代男性運転の普通乗用自動車と衝突し、70代男性運転の普通乗用自動車に同乗していた70代女性が重傷を負ったもの。
4	7月24日	(土)	22:10	いわき市	10代男性が運転する普通乗用自動車が、緩やかな左カーブを進行中、橋の欄干に衝突し、10代の同乗者1名が亡くなり、運転手他同乗者5名が重傷を負ったもの。

※交通事故の特徴

4件中、2件が

- 高齢運転者が関与する交通事故
- 単独の交通事故
- 同乗者が死亡又は重傷

となり、特にいわき市内では6月5日の事故に続いて、ヤングドライバーによる死亡事故が連続で発生しています。

★ドライバーの皆さんへ★

- ハンドルを握ったら、運転に集中しましょう。
郊外の道路を走るときは、変化がなく運転が単調になりがちで、注意力が低下しやすい傾向にあります。
一瞬の気の緩みが重大事故を招くこともあるため、緊張感を持って運転しましょう。
- 適度に休憩を取りましょう。
天候がよく、暑くないなか長時間運転を続けると、どうしても緊張感が低下し、漫然運転になりがちです。
また、運転による疲れがたまってくると、居眠り運転の原因にもなりますので、適宜休憩をとりましょう。
- 速度は控え目にしましょう。
速度は控え目に、特にカーブでは対向車線にはみ出しやすいので、慎重に運転しましょう。
- 天候の変化に注意しましょう。
県内では、天候が急激に変わり、突然の豪雨なども発生しています。古いタイヤは劣化により、濡れた路面でスリップしやすくなります。
また、降雨でも視界を確保できるよう、ワイパーの点検も忘れずに行いましょう。

